

次期地区役員・委員研修会

2015-2016年 研修会資料 YCE委員研修会

●YCE について ————— 山根 健

- 1)YCE 事業の目的
- 2)YCE 事業の歴史と今後の展望
- 3)YCE 憲章・・・一部抜粋
- 4)交換生の選考
- 5)種類
- 6)運営
- 7)地区 YCE 委員会の任務
- 8)YCE 事業の MD336・海外窓口
- 9)8 複合での YCE 海外窓口/略号一覧表

●YCE 事業について —— YCE 委員長 三好 昇

- 1)YCE とは
 - 2)YCE プログラムマニュアルとは
 - 3)年間スケジュール
 - 4)冬期キャンプ
 - 5)夏期キャンプ
 - 6)派遣・受入
- 別表 YCE 夏期派遣生 出国・帰国一覧表
夏期来日生受入 (メール)
- 別紙 ライオンズクラブとは
組織とその働き



次期区役員・委員研修会 Y C E について

(1) Y C E 事業の目的

ライオンズクラブ国際協会は「世界の人々の間に相互理解の精神を培い発展させる」と言うライオニズムの第1目的を実現する為、様々な国際交流を行っています。そしてその中でも、次世代を担う青少年に対する最も効果的な活動として青少年交換事業（Y C E…Yoyth Camp Exchange）を推進しています。

国際協会・国際理事が1962年に青少年交換プログラムの設立をしています。プログラムの目的は以下の通りです。

- ①ライオニズムを通して、国際理解と親善を促進する。
- ②異なる文化的背景を持つ家庭や地域社会の生活を体験させる。
- ③青少年に諸外国の同年代の青少年と交流する機会を与える。
- ④他国の人と接する機会を青少年に与える。

以上の事はすなわち、交換生、スポンサークラブ、ホストクラブ、家庭が全員心に留めておくもので、関係者は個人的利益を考えずにプログラムを実施するように、自らの行動に細心の注意を払わなければならない。

(2) Y C E 事業の歴史と今後の展望

国際交流Y E 事業は1962年国際理事会で決議され、現在多くの国に於て実施されています。

その前年1961年に神戸とアメリカ・カルフォルニア州、ネバダ州との間に於て行われた青少年の交換がその起源です。（日本ライオンズはY C E 事業の先駆者）近年、一般家庭、学校などでも交流機会が増え、海外体験は日常的な出来事になって来ました。それと共にY C E 事業を取り巻く環境が大きく変化し、派遣・受入れ共、減少傾向にあります。しかしながらライオンズクラブが行う、Y C E 事業は単なる海外経験を積むだけのものではなく、「小さな親善大使」として文化を学ぶ機会を提供するものです。青少年にとって他国への旅、ホストファミリーでの生活、異文化体験は人生を

変える程の大きな体験となり、この経験は青少年を大きく成長させます。そして、将来の国際間の理解増進、国際強調にも結びついて行くものです。YCE事業は派遣して終り、受入れして終りではなく、むしろその後、生涯の及ぶ国際交流にも発展して行きます。そうならなければなりません。

(3) YCE憲章…一部を抜粋

- ライオンズ活動の基本組織でもあるライオンズクラブが、自らの名誉と責任の下に選考し、決定したユースである。
- YCE活動の真意である「自らの日常生活をありのままに海外の家庭で示し、相互の友好はもとより、自分の人生生活の向上に役立たせる」努力を素直に実行できる意志力のあるユースである。
- 自国の優れた礼節を体得し、守る事の出来るユースである。
- 訪問国の法律を誠実に理解し、順守する意思のあるユースである。
- ホスト家庭に対して、いささかも不快、迷惑その他不都合な感情、行為を与えない事を誓約出来るユースである。
- 精神、身体の健康について、いささかも不安もないユースである。
- 派遣国のライオンズYCE責任者が与えた、注意事項・指示事項を十分理解し、忠実に順守出来るユースである。

(4) 交換生の選考

- すべての応募者は交換に先立ってスポンサークラブの選考を受け、交換生及び保護者は、YCEプログラム規定を理解し、プログラムの趣旨に従う事を誓約する同意書に署名し提出する。
- 年齢は原則として16～21歳（派遣時）とする。
- その他、学力・語学力・応募の動機等々はYCEプログラムマニュアル〈第5版〉記載の通り。

(5) 種類

YCE事業では、現在 ①一般交換…Youth Exchange ②直接交換…Special Request

③国際ユースキャンプ… International Youth Camp の3種類で実施です。

*通常 336-D地区では①に2泊3日程度のミニキャンプを実施しています。

*予算的にゆるされれば、YCE委員長方針で、336複合と共催、或いは他複合とも可能です。(7)…④

*②で、諸外国との姉妹或いは友好締結クラブと周年行事に併せて実施しています。

(6) 運 営

YCE事業は国際協会のYCEプログラムに則って実施される、単一クラブのアクティビティです。YCE事業は「派遣」「受入」の2つの作業から成立する。これらはどちらも不可欠な作業ではあるが、それぞれ独立した業務として捉えるものです。受入を不平に感じたり、派遣した事によって受入に義務を感じたりするのは、この原則に反しているだろう。各クラブは「派遣」と「受入」のそれぞれにおいて、優れた国際感覚を発揮することが必要です。

(7) 地区YCE委員会の任務

地区YCE委員会はYCE委員長の招集によって、ガバナーの基本方針に沿って行われる委員会に委員は必ず出席すること。任務は以下の通り。

- ①地区内のYCE委員長に対し、YCEについての各種情報を提供する。情報は、YCEの意義、歴史、実施要領及び地区内の状況などが中心となる。
- ②単独でYCE事業を実施しようとするクラブに対し、協力・援助を行う。
- ③地区内の単一クラブが連携してYCE事業を実施する場合は、その要領を準備する。
- ④他地区と連携してYCE事業を行う場合は、複合地区YCE委員会を通して、他地区との連携を行う。

(8) YCE事業のMD336・海外窓口

MD336ではアメリカ マサチューセッツ州、ミクロネシア、台湾との海外窓口になっていま

すが、現在は台湾のみとなっていて他はあまり交渉がなく休眠状態です。 受入は毎年7月中旬よりおよそ3週間、35～40名程度受入、担当窓口としては、YCE生を到着空港に出迎え、全国の受入れ先迄届ける任務があります。又、引率して来る台湾役員との交流があります。派遣については、毎年8月初旬よりおよそ3週間、ここ数年は多くても10名程度の派遣で、今期派遣は今のところ3名です(2015. 3. 現在)。派遣より受入の方が多く、今少し派遣を増員して派遣事業の更なる発展が望まれます。

冬期派遣受入れも同じ扱いですが、期間も短く毎年正月を挟んで2・3週間で実施しています。

(9) 日本ライオンズ 8複合でのYE海外窓口・略号一覧表…添付の通り。

*本資料はMD336・YEプログラム マニュアル〈第5版〉を基に、ライオンズ関連の文献と、数回の研修資料を参考に編集、更に加筆・削除し、短時間に理解し易い研修資料として編集しています。

*本事業も国際的にキャンプが主流になり「国際協会青少年交換プログラム」は「国際協会キャンプ及び青少年交換プログラム」に統合され、青少年交換委員長(YE委員長)の役職は青少年キャンプ及び交換委員長(YCE委員長)となった事をご承知の通りです。

MD336YEプログラムマニュアル〈第5版〉は2008年4月発行で既に7年を経過していて、改訂が望まれます。

尚、編集について不都合な部分があればご容赦願います。

2015. 4. 文責 山根 健

Y C E 海外担当窓口・略号一覧表

アメリカ方面		
国名	略号	窓口
MD4 ※1	CA	330
ハワイ (CAMP)	HI CAMP	330
アラスカ	AK	331
メイン		331
コロラド	CO	332
オクラホマ	OK	332
テキサス	TX	332
アーカンソー	AR	333
ミズーリ	MO	333
ネブラスカ	NE	333
サウスカロライナ	SC	333
MD5 ※2	SD	333
ユタ	UT	333
アイオワ (CAMP)	IA	335
イリノイ	IL	335
アリゾナ	AZ	335
アリゾナ (CAMP)	AZ CAMP	335
コネチカット	CT	335
フロリダ	FL	335
アイダホ	ID	335
インディアナ	IN	335
ケンタッキー	KY	335
モンタナ	MT	335
ミシガン	MI	335
メリーランド	MD	335
ノースカロライナ	NC	335
ニューヨーク	NY	335

国名	略号	窓口
オレゴン	OR	335
ペンシルバニア (CAMP)	PA CAMP	335
テネシー	TN	335
バーモント	VT	335
バージニア (CAMP)	VA CAMP	335
アラバマ		335
ノースエストテリトリー		335
マサチューセッツ	MA	336
ジョージア	GA	337
カンサス	KS	337
ミネソタ	MN	337
ウィスコンシン	WI	337
ウエストバージニア	WV	337
中南米		
ペルー	Peru	335
メキシコ	MX	333
ブラジル	BZ	333
アルゼンチン	AG	333
カナダ		
国名	略号	窓口
MD19 ※3	WA	335
アルバータ	AB	335
アルバータ (CAMP)	AB CAMP	335
マニトバ	MB	335
ノバスコシア	NS	335
ケベック	QU	335
オンタリオ (CAMP)	ON	335
ユーコン	YU	335

オセアニア		
国名	略号	窓口
オーストラリア	A	335
オーストラリア (CAMP)	A CAMP	335
ニュージーランド	NZ	335

ヨーロッパ方面		
国名	略号	窓口
フランス	F	334
ドイツ	G	334
オーストリア	AS	334
イギリス&アイルランド*	E	334
スイス	S	334
デンマーク	D	334
スウェーデン	SW	334
ノルウェー	N	334
フィンランド	FN	334
アイスランド	IC	334
オランダ	H	334
ベルギー	B	334
イタリア	IT	334
ルクセンブルク	LU	334
ギリシャ	GR	334
スペイン	SP	334
ポルトガル	PT	334
エストニア	ES	334
チェコ&スロバキア	CS	334
ロシア	RS	334
ウクライナ	UKR	334
ルーマニア	RO	334

国名	略号	窓口
スロベニア	SL	334
クロアチア	CR	334
トルコ	TK	334
イスラエル	IS	334
マケドニア		334
ポーランド	PO	333
ハンガリー	HU	333

アジア		
国名	略号	窓口
香港	HK	330
モンゴル	MN	330
タイ	TH	330
カンボジア		332
フィリピン	PH	333
インド	INDIA	333
ネパール	NP	333
マレーシア	ML	335
韓国	KR	335
インドネシア	IND	335
台湾	RC	336
シンガポール	SY	337

※1 カリフォルニア

※2 ノースダコタ、サウスダコタ、オースチン

※3 ブリテイッシュコロンビア、ワシントンDC、コロンビア

YCE事業について

2015年2月19日(木)

ライオンズクラブ国際協会336-D地区
YCE委員長 三好 昇

目次

1. YCEとは
2. YEプログラムマニュアル
3. 年間スケジュール
4. 冬期キャンプ
5. 夏期キャンプ
6. 派遣・受入

1. YCEとは

1-1. 語源

- Y …… Youth(ユース)
- C …… Camp(キャンプ)
- E …… Exchange(エクスチェンジ)

1-2. 起源

- ・ **1962年**、ライオンズクラブ国際協会理事会にて青少年交換事業の実施が決定された。
- ・ **日本の神戸**とアメリカのカリフォルニア州、ネバダ州間で夏期青少年交換がはじまり。
- ・ 1963年、スウェーデンのLCが国際ユースキャンプを開催し、**1974年**、に国際理事会にて正式にキャンプを承認された。
以降**YCE**とされた。

1-3. 対象年齢

- ・ **16歳から21歳まで**……21歳以上もたまに例外としてある場合もある

1-4. 目的

- ・ その国々の生活、文化を学ぶと共に、日本の国の生活、文化を紹介することで、**相互理解、国際親善の増進に寄与し**、将来の世界絵御考える機械を持ち、**世界平和に貢献すること**を目的とします。
- ・ **親善大使**として派遣、受入を行う。

1-5. 帰国後の活動

- ・ YCE 生がライオンズクラブについて学ぶ。
- ・ 広く地域社会にPRをする。
- ・ 青少年の奉仕の精神の芽を育てる。
- ・ 未来を担う青少年達に国際的な視野を広げ、成長出来る機会を与える。

2. YEプログラムマニュアルとは

2-1. YEプログラムマニュアル本について

- ・ ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区
YEプログラムマニュアル<第5版>による
- ・ ライオンズクラブ国際協会336複合地区YE委員会・
336-A~D地区YE委員会 発行

2-2. もくじ

- ・ はじめに
- ・ 国際協会青少年交換プログラム方針に基づく336複合地区青少年交換プログラム実施ガイドライン
- ・ YE憲章
- ・ 第1章 YE事業について
- ・ 第2章 複合地区・準地区・クラブYE委員会の任務
- ・ 第3章 派遣事業
- ・ 第4章 派遣生オリエンテーション
- ・ 第5章 受入事業
- ・ 第6章 受入ホスト家庭オリエンテーション
- ・ 資料編(様式・文例・資料)

以上の10項目より構成

2-3. 重要な役割

第2章 複合地区・準地区・クラブYE委員会の任務

第2章 4. 地区YE委員の任務

- ① リジョン内YE委員長会議の開催。
- ② リジョン内YE委員長に対し、派遣、受入の実務の指導。
- ③ クラブYEのPR。
- ④ 派遣生の募集及び、審査推薦。
- ⑤ 来日生受入ホスト家庭の募集及び、オリエンテーション。
- ⑥ 多数クラブで行う YE 行事の指導及び、推進。
- ⑦ 派遣生、来日生及び、ホストクラブの経験を聞く会の開催。

第2章 5. クラブYE委員長の任務

- ① 着任次第、前委員会の実績を参考に派遣、受入の実態調査を行う。
- ② 会長指揮のもとに、年間予定、計画等の編成を行う。
- ③ クラブ員に対して、YE事業が単一クラブのアクティビティであることを再認識させ、活動の重要性と必要性を知らしめる。
- ④ YE活動の実態を会員及び、ノンライオンに対してPRする。
- ⑤ 派遣生を募集、推薦する。ノンライオンでも可。
- ⑥ クラブ会長、幹事と共に派遣生の選考を行う。選考結果は理事会の承認を得る。
- ⑦ 来日生の受入ホスト家庭を募集推薦する。クラブ全体の責任においてホスト家庭のみにその責任を負わせない。
- ⑧ 派遣生並びに、来日生から写真入り英文レポートを提出させ、派遣生は同文の和文レポートを提出させる。
- ⑨ 派遣生出発時の地元駅・空港の集合、帰国時の地元駅・空港にて引き取りを行う。
- ⑩ 同様に来日生の到着時の地元駅・空港での引き取り、離日時の地元駅・空港への集合を行う。来日生の到着から帰国出発への集合までクラブYE委員長はクラブ会長と共にその責任者である。
- ⑪ 来日生のホスト家庭間の引き継ぎに立合い、スムーズな引き継ぎが行われる様に心掛ける。
- ⑫ リジョン担当地区YE委員を補佐し、地区YE活動が円滑に行われる様に協力する。

第2章 6. YE海外担当窓口

336において

- ① アメリカマサチューセッツ州
- ② ミクロネシア
- ③ 台湾

以上の3ヶ国があるが①②は、現在交流無し

第2章 9. 複合地区・地区・クラブYE委員長の任期

7月1日～翌年の6月30日 但し、役割は翌年の8月31日まで

3. 年間スケジュール

3-1. 派遣の募集・実施時期

・ **夏期**

募集 : 前期11月10日頃 〆切
 実施 : 翌年7月中頃から2~6週間
 内容 : ホームステイ・ミニキャンプ

・ **冬期**

募集 : 前期8月15日頃 〆切
 実施 : 同年12月中頃から2・3週間
 (正月を挟む)
 内容 : ホームステイ・ミニキャンプ

3-2. 受入時期

・ **夏期**

ホスト家庭の募集 : 後期4月頃
 (状況により変動)
 時期 : 前期7月中頃から2~6週間
 内容 : ホームステイ・ミニキャンプ

・ **冬期**

ホスト家庭の募集 : 前期9月頃
 (状況により変動)
 時期 : 前期11月末頃から2・3週間
 内容 : ホームステイ・ミニキャンプ

3-3. スケジュール表

1. 派遣 夏期 ● 冬期 ○

月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
募集		○			●							
審査		○			●							
申込み			○			●						
オリエンテーション	●					○						
実施		●	●				○	○				
帰国報告会				●					○			

2. 受入 夏期 ● 冬期 ○

月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
ホスト家庭募集				○							●	
審査				○								●
申込み					○							●
オリエンテーション	●					○						
実施		●	●	●		○	○					
ミニキャンプ			●				○					

4. 冬期キャンプ

4-1. 336複合によるミニキャンプ

- ・ ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区によるミニキャンプが 336-B地区において開催される。今期は、大仙2泊3日スキー体験であった。

4-2. 336-D地区のキャンプ

- ・ 336-D地区は独自で開催する(現ガバナー方針)今期は、芸北国際スキー場1泊2日スキー体験をおこなった。

4-3. 報告書

- ・ 別紙1参照

5. 夏季キャンプ

5-1. 336複合によるミニキャンプ

- ・ 未定 昨年は、336-A地区にて2泊3日7月末高松

5-2. 336-D地区のキャンプ

- ・ 336-D地区は独自で開催する(ガバナー方針)下関市から長門市間で開催予定
現在7Rで企画
中
時期は、7月末～8月始め頃

6. 派遣・受入

6-1. 派遣

- ・ 各クラブからの申し出により、複合のYCE委員長会議にて決定する。
- ・ 派遣先希望1～希望3までを記入して申し込む。
- ・ 要望が重複した場合には複合のYCE委員長会議にて協議で決定する。

6-2. 受入

- ・ 336-D地区受入国、人数は複合のYCE委員会で選考決定する。
- ・ 要望国、男女別等あれば予め、(キャビネット)地区YCE委員長に申し出る。
- ・ ホスト家庭の日程は、概ね10日以上を目標とする。

YCE夏期派遣生 出国・帰国 一覧表

2018年4月9日 発行

ID No	氏名	性別	年齢	ステーションナンバー	派遣先	出発日	出国日	送迎者	前泊の有無		国内移動	国内移動時刻	集合時間	乗船空港	7:30時刻	送迎者 帰国時刻	帰国日	空港	帰国時間	国内移動	7:30時刻
									本人	送迎											
IT-3	小林 尚於	男	21	防府LC	イタリア	7月16日 (木)	7月17日 (金)	委員長 三好 090-3176-7173	成田	成田	新内/成田 山口宇部/羽田/H/成田 HOTEL 成田/ソフィテル	新内移動 泊 HOTEL/JLJ/J 15:00発/16:35着 泊 HOTEL/JLJ/J	7:25	成田	9:55	成田/ 羽田 山口宇部 12:45発/14:25着	8月14日	成田	7:45着	成田 新内	当日 都内移動
SN-8	金子 唯	女	17	萩LC	シンガポール		7月20日 (月)	委員長又は 6R委員	×	×	新山口/福岡	06:27発-07:16着	※7:30	福岡	10:00	福岡 新山口 11:04発/11:40着	8月18日	福岡	8:35着	福岡 新山口	当日 10:29発/11:05着
SN-9	岡崎 真	女	16	萩LC	シンガポール		7月20日 (月)	委員長又は 6R委員	×	×	新山口/福岡	06:27発-07:16着	※7:30	福岡	10:00	福岡 新山口 11:04発/11:40着	8月18日	福岡	8:35着	福岡 新山口	当日 10:29発/11:05着
CA-20	下手 巧也	男	16	岩国線LC	MO/KO/フリス/ルニア		8月1日 (土)	委員長 三好 羽田台流 090-3176-7173	×	×	岩国/羽田 成田 山口宇部/羽田 成田	07:35発 09:19着 待合/JLJ/J、京急/ 又は11:10発/12:45着 07:50発 09:25着 待合/JLJ/J、京急/ 又は09:40発/11:15着	14:00	成田	17:05	泊	8月21日	成田	16:25着	成田 羽田/岩国	当日 19:10発/20:50着
G-7	新升 敏	男	20	小野田LC	ドイツ	8月2日 (日)	8月3日 (月)	委員長 三好 羽田台流 090-3176-7173	成田	成田	/羽田 H/成田	15:00発/16:35着 泊 HOTEL/JLJ/J	7:25	成田	9:55	泊	8月24日	成田	7:45着	成田 羽田 山口宇部	当日 12:45発/14:25着
KS-2	田中 夏帆	女	17	豊北LC	カンザス		8月4日 (火)	委員長 三好 羽田台流 090-3176-7173	成田	成田	福岡 成田	07:20発 09:10着 成田着	※12:30	成田	16:25	成田/ 羽田 山口宇部 19:15発/20:50着	8月29日	成田	15:20着	成田 福岡	前日 13:10発 当日 15:20発 成田 福岡 着
ML-16	横田 成美	女	16	長門LC	マレーシア		8月3日 (月)	6R委員	×	×	新下関 福岡	06:49発-07:16着	※7:30	福岡	10:00	福岡 新下関 09:48発/10:14着 11:22発/11:50着	8月15日	福岡	8:35着	福岡 新山口	当日 10:29発/11:05着
RC-3	上田 哲也	男	16	3R-1Z 石見LC	台湾		8月6日 (木)	3R委員	×	×	広島 関西空港	07:37発 10:04着	10:40	関西	13:10	関西空港/広島 13:16発/15:52着	8月26日	関西	11:30着	関西空港 広島	当日 13:16発/15:52着
ML-17	下田 小百合	女	19	5R-4Z 山口西京LC	マレーシア		8月7日 (金)	委員長 三好 090-3176-7173	×	×	新山口/福岡	06:27発-07:16着	※7:30	福岡	10:00	福岡 新山口 11:04発/11:40着	8月15日	福岡	8:35着	福岡 新山口	当日 10:29発/11:05着

三好建築設計

送信者: “三好建築設計” <izk07515@nifty.ne.jp>
宛先: “三好建築設計事務所 三好所長” <izk07515@nifty.ne.jp>
送信日時: 2015年4月9日 4:35
各地区キャビネット事務局 様

お世話になっております。

夏期来日生受入につきまして、長谷川YCE委員長のご指示により以下お送りいたします。
各地区への配分は4/24（金）開催の委員長連絡会議で決定されますが、参考のため来日生情報を
予めお知らせいたします

<台湾からの来日生>

日本来日人数: 36名（当初予定35名のところ、台湾側の希望により1名追加）
うち336での受入人数: 12名
来日日程: 7/17～8/6

※性別や年齢等詳細は現在のところ不明です。

<ヨーロッパからの来日生>**336での受入人数: 6名**

(男子1名、女子5名)

※このうちハンガリー来日生Ákos Godóは本人の希望により336-A地区で受入

国	ID No.	Name	性別	年齢	来日	帰国	備考
ドイツ	GJ-2	Lena-Marie MENKE	女	16	7/15	8/6	動物アレルギー
フィンランド	FNJ-2	Sonja SALMINEN	女	19	未定	未定	服薬あり
フィンランド	FNJ-8	Josefiina HOLOPAINEN	女	19	未定	未定	服薬あり
イタリア	IJ-5	Elisa GUAITOLI	女	17	7/15	8/11	
イタリア	IJ-10	Francesca MAZZANTI	女	18	7/15	8/11	
ハンガリー	HU-	Ákos Godó	男	22	7/15	8/2	

現在のところ上記の通り、台湾 12名、ヨーロッパ 6名 計18名の受入を予定しております。
以上、ご参考になさってください。
よろしくお願い申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会
336複合地区ガバナー協議会事務局 谷本

=====
admin@lions-md336.org
=====

〒700-0907岡山県岡山市北区下石井2-1-18
ORIX岡山下石井ビル9F
TEL/086-234-0695 FAX/086-234-0495

ライオンズクラブとは

国際なボランティアを行う非営利 **組織** です。

■ 組織とは

『特定の目的を達成するために、専門的な役割を持った部門で構成されている集合体のこと。』

したがってライオンズクラブの組織には、一定のルール とそれを運営するための 役員構成 が定められ、それに従ってボランティア活動をおこなわなくてはなりません。

クラブでは、そのルールを 必携 に明記し且つ、構成役員がスムーズな運営を行うことが出来る様に 役員必携 が定められています。

■ 組織構成とは

クラブが、ライオニズム(精神)に乗っ取り 目的の指示や伝達、運営 がスムーズに行われ、より良いボランティア活動が行われる様に組まれた図式です。

■ 組織図とは

クラブでは、プロトコール で表現され、公認プロトコール に従い、こと細かくその順序が定められています。

■ 重要事項

1. クラブメンバーであるならば、自分がライオンズ組織の一員であることを再認識し、必携に基づくルールを厳守しクラブ活動を行うことが重要です。
2. 不明なこと、知らないことは沢山あります。そう言ったことは個人や同僚で勝手に判断せず、ライオン暦の豊富な先輩に意見を聞き、間違った判断をしないことが重要です。
3. 対外的行事については、特に自分がクラブの代表であるかまたは、クラブの一員であることを熟知し、個人的意見とクラブの意見を混同しないことが重要です。
4. ゴルフ等レジャーや、お酒等の懇親会は基本、友好と親睦の一つであるが、クラブを個人の利益とし利用してはならないことが重要です。
5. 決定方法は、民主主義に従いライオンズクラブ必携に基づき多数決により(一部を除く)例会で決定されることが重要です。

組織とその働き プロトコール図式

